



02



風 俗店で叩き込まれた

変態的な嗜好。

汗や涎 ばかりを好む

男たちとの行為にはまりこんだハルカは、

いつの間にか自分も男たちと

同じ体質に陥ってしまい……



back to the 'T-01'





びくッ

にゅっ

おーもう
じれったいなあ

あ
ん
ん

どうだい
おにーさん!
スッキリして
かなあいかい?

柔らかくて
最ッ高だよお
この子の使い心地はッ!

にゅっ
にゅっ

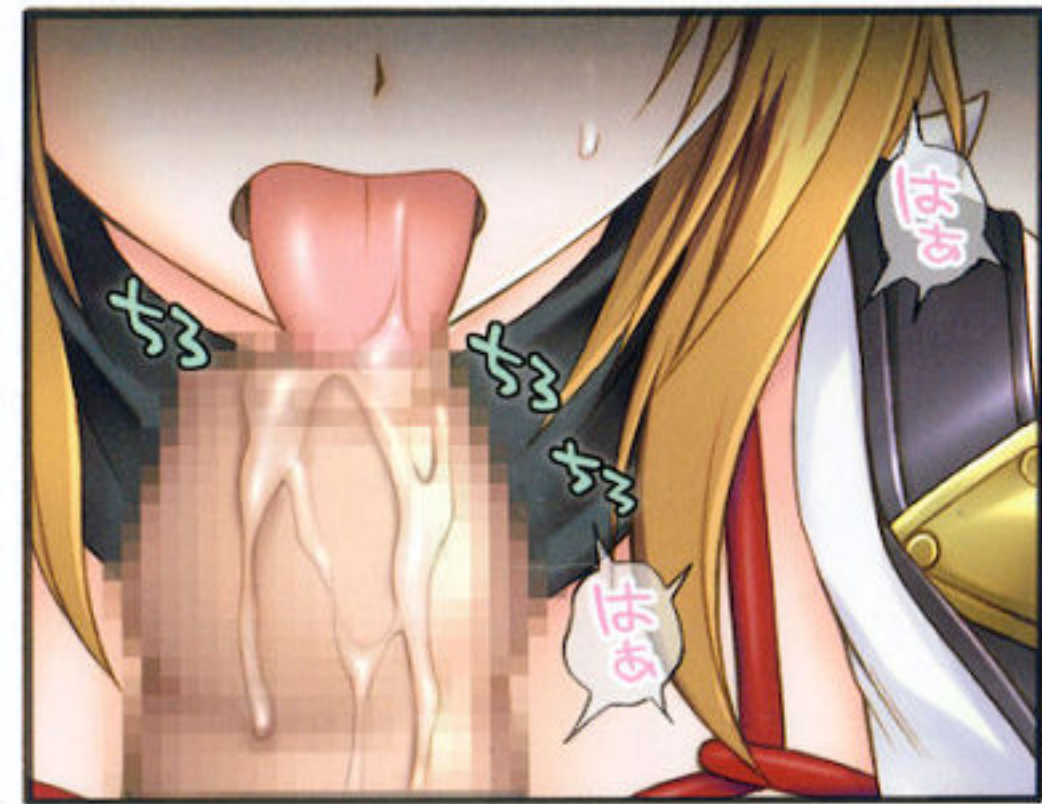


…安くしとく
からさ

……

ゴクッ……

……





はれはててまふ
(枯れはててます)

なななッ……
何を言ってるのか……
……よく分らんが……ッ
アンタの舌つかいッ
う……上手すぎるッ!



中はきつと臭くて……不快になる

皮は剥かない方が……いいって
ここんとこ会社に泊まりこみでろくに風呂に入っていないんだ

あつてもキ……ちよ……



ギョッ

お……



たしかに……徐々に味が濃くなってきたる……

はあ

はあ



どんなッ……どんなニオイなんだろうこの皮の中……



いやー……その子重度の匂いフェチって危ない嗜好に染まってねえ

え？
な……んだよ
それ……

はあ
はあ
はあ

ん？
あららー
アンタ……ハルカちゃんのスイッチを入れちまったな



今はアンタの垢だらけのブツを間近で嗅いで一気に興奮が高まっちゃまってんのさ

現に見てみなよ股の洪水つぶり

普通のヒクつき方じゃねえだろ？

……嗅いだけでもう軽くイッちまったのさ



本気……ですか

ああ……こうなっちゃったらハルカちゃん……

生半可なブレイじゃ満足してくれねーんだぞお

まったく……今日はほんの小遣い稼ぎで済ます予定だったんだがなあ

こうなりや俺たちとアンタとで派手にやるか
3人でまわせば効率も良いしな



おう……

おい……お前そっち持つててくれ

……なにあれ……



……いたハルカさん



さあハルカちゃん
こっちはだ

ここに乘って
このにーちゃんの
相手を

は……い

何なの
いつたい……

ハルカさん
何であんな奴らの
言いなりに……

グッ……
グッ……

……

……



びしょ

びしょ
びしょ
びしょ

よおお：
にーちゃんどうだい？
ハルカちゃんの
穴の使い心地は

おん
おん

おん
おん

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

おん
おん

おん
おん

す…凄いな
この子！

最初はユルいと思っただけど
中での締め付け方が…
最ッ高に気持ち良い！

おん
おん

うん…
うん…

おん
おん

おん
おん

おん
おん

タカマルの事は
得られない...

11111111
1111111111111111

そーだろ
そーだろ
使いすぎて穴の方は
結構拡がっちゃって
るんだが……
ハルカちゃんは
締め付けが凄いなだ

普通の女と違って
休みなく興奮しっぱなし
だからなあ

本当に貪欲な
ハルカちゃん

さあ俺たちの
きつーい
ニオイも嗅いで

もっともっと
弾けようかあ……





吐き気を
もよおしてしまっ
た……強烈な吐き
け……これが……

そっ……
このニオイ……

とろとろ

もわ
もわわ〜ん



天ユウガガッ

好きッ



ドクニッ

ドクニッ

これが……シ



アッアッアッ

びくびく

キツッ……お
おおおッ

はッ

バキッ
バキッ

びく
びく

あッ……

びく

びく

びく

びく



...うー!

グッ

フッ

ハッ

グッ

グッ

ズッ



ああッ……
イッ……

久しぶりの
……絶頂……

やっと私……
イけた



……
……
……



は……ッ

……

……

……

は……ッ

……

……



夕カマル様……
……

……

ハルカは……
……

……
……
……



もう…
いけないシ

入れんえ
早くシ

カ…カ…カ…カ…カ…カ…
カ…カ…カ…カ…カ…カ…

ハ…ハ…ハ…ハ…ハ…ハ…
ハ…ハ…ハ…ハ…ハ…ハ…

く…く…く…く…く…く…

タカマル様じゃ
私…私…私…私…私…私…
いけない身体なシ



な…

自分
が…

分かった
分かったから…

ははッ
相変わらず
素直だねえ
ハルカちゃんは

お願いです…ッ
早く…うッ
早く突っ込んで
ください…いッ

……



おっ!!

んっ...
ふっ...
んっ...

おっ!!
おっ!!
おっ!!

んっ!!

んっ...

んっ...
んっ...
んっ...

んっ!!

もっ...ほお
ひくひく

ちゅらっ
ちゅら

んっ...
んっ...
んっ...

んっ...何?
乳首 気持ち良いって?
もっとなんて欲しいんだね?
んっ...分かった分かった

おっ!!

おっ!!
おっ!!
おっ!!



ハルカちゃん
……ッ
前言ったた
アレやるから

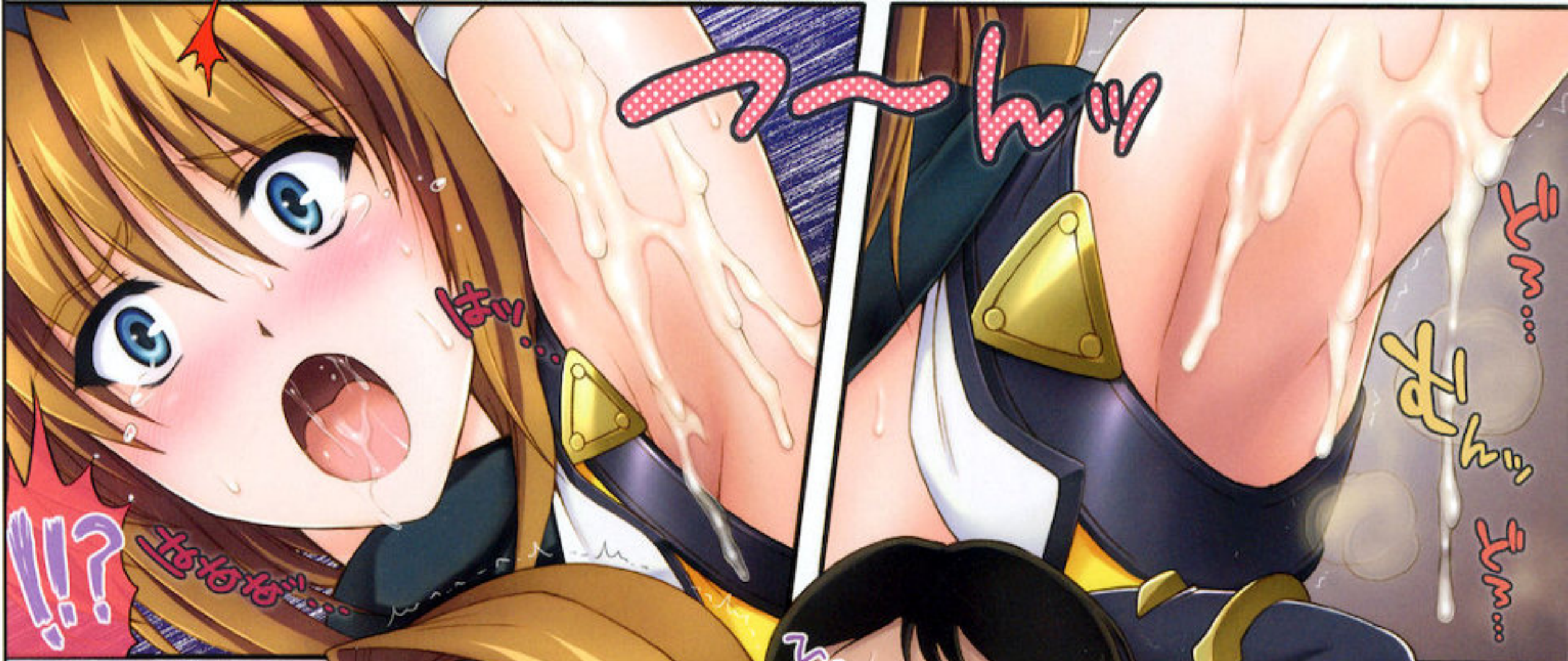
腋あげて
……

は…

はっ…っ

わろっ

はっ



……どう?
俺の生臭い精液と
ハルカちゃんの
汗臭い腋が

混ざり合っ
て
出来る
この匂いは……

興奮しちゃう
くらい
すばらしい

はっ

はっ
はっ
はっ

はっ

はっ

はっ
はっ

すばらしい

はっ
はっ

はっ
はっ

タカマル様...

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

これが……
今の私です♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

卑猥なニオイを
嗅いだら誰とでも…

こんな風に
乱れられる…
…変態…ッ

ハルカは
もう…

そういう女に
なってしまったんです

おおお…
そろそろ…
出そう…だッ

出して…ッ…
一番…奥…
熱いの…下さいッ

ガシッ

ガシッ

ガシッ

ガシッ

ガシッ

ガシッ

キュウウ…

はッ

はッ

はッ

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ

本当じ……
しめろ…なれろ…シ

はあ
あ
あ

ドコ
ドコ
ドコ

ドコ
ドコ
ドコ

ああ…熱いのを…
…奥で感じ…ますッ

もう……
閃忍の務めも…

ドクンッ
ドクンッ

ズッ
ズッ

ドクンッ

ドクンッ

ドロォ…

もっとこのまま……
……注いだっ！
たっなり……子宮……
……注いだっ！

ノロイとの
戦いも……



さっ……
ハルカちゃん
次はこっちこっち
どうせまだ
いき足りない
んだらう？

は……



も……
も……
下……



は……

何なの……
あれ……

は……

何なのよ
一体ッ！



もの凄く……
淫靡だった……



ハママア……

ハルカさん……
あんなに乱れて……



もう一回…
状況を説明して
もらえますか？

—もう一回

数時間後

... several hours later

昨夜……
ナリカにハルカの
尾行を命じた

様子が
おかしかった
例のハルカの件を
調べるためだ

だが帰還途中に……
下忍たちと偶然遭遇し
そのまま交戦……

結論から言うと
ナリカは敗れ……
ノロイ党の手に
落ちてしまった

でも
なん……でッ

何でナリカが下忍なんか
に敗れるんですかッ

モニタ上からでは
明らかに日ごろと違った
鈍い動きをしていたのが
確認されている

終始 下腹部か…その下を
しきりに押さえていた

だが今はそんな事を
推測しても
仕方が無い……

問題は……敗れたナリカが
その場で陵辱の限りを
尽くされた挙句……

無限城へと
連れ去られて
しまった事だ

パサッ

当然……
ナリカの反応は
既にロスト

現時点で救出できる
手段を我々は
有していない

……ハ

ハルカさんは……
まだ戻って
こないんですか？

ああ……
ナリカの件と違って
こちらは確認手段が
無いが……

ハルカはハルカで
ついに昨日から
行方知れずだ

上弦衆総出で搜索を
始めているが……
どこへ行ってしまったのか
見当もつかん

……
そんな



HARUKA